

EU Indicators

発表日:2022年7月29日(金)

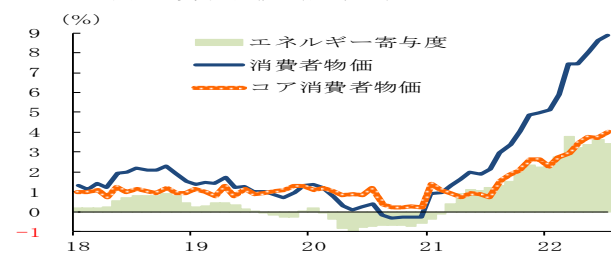
欧州経済指標コメント:7月ユーロ圏消費者物価

～秋の値上げに注意～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

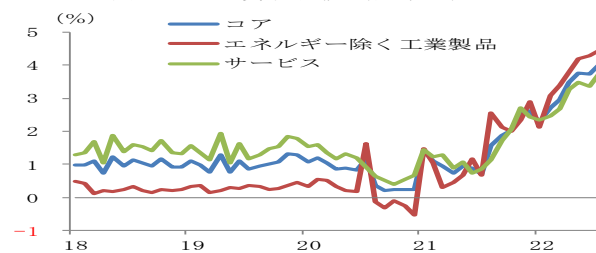
- 7月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+8.9%と、前月の同+8.6%から上昇率が一段と加速し、統計開始以来の過去最高を再び更新した。速報段階で入手可能な内訳は、エネルギー価格（前月：同+42.0%→今月：同+39.7%）の上昇率がやや鈍化した一方、食料・アルコール・たばこ（同+8.9%→同+9.8%）の上昇率が一段と加速し、変動の大きい食料・アルコール飲料・たばこ・エネルギーを除くコア物価（同+3.7%→+4.0%）も再加速した。速報段階で入手可能なコア物価の内訳は、エネルギーを除く工業製品価格が同+4.3%→同+4.5%、サービス価格が同+3.4%→同+3.7%が揃って上昇率が加速した。
- 統一基準のヘッドライン計数の国別内訳は、ドイツ（同+8.2%→同+8.5%）、フランス（同+6.5%→同+6.8%）、スペイン（同+10.0%→同+10.8%）、オランダ（同+9.9%→同+11.6%）など多くの国で上昇率が加速した一方、イタリア（同+8.5%→同+8.4%）やベルギー（同+10.5%→同+10.4%）などで僅かに上昇率が鈍化した。
- 定期点検終了後にノルドストリーム経由の欧州向けガス供給が再開されたものの、ロシアは部品修理を理由にガス供給を通常の20%に縮小。ガス不足への警戒が高まっており、天然ガス価格が再び上昇している。加えて、ドイツでは経営難にあるエネルギー企業を救済するため、ガス料金の値上げを容認する方針。今月のエネルギー価格は上昇が一服、前年比でみた上昇率はそろそろピークアウトに向かうタイミングだが、高止まりが予想される。6月にドイツで開始された公共交通機関の時限値引きが終了する秋以降、物価に一段の上昇圧力が及ぶとみられる。

■ユーロ圏:消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギーを除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏:コア消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギーを除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2021		2022		2022											
	3Q	4Q	1Q	2Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
消費者物価（前期比）	1.2	1.6	2.7	2.3	0.2	0.8	0.7	0.4	1.1	0.8	1.7	0.1	0.7	0.7	—	
（前年比）	2.8	4.6	6.1	8.0	3.4	4.1	4.9	5.0	5.1	5.9	7.4	7.4	8.1	8.6	8.9	
コア消費者物価（前年比）	1.4	2.4	2.7	3.7	1.9	2.0	2.6	2.6	2.3	2.7	3.0	3.5	3.8	3.7	4.0	
食料/アルコール/たばこ（前年比）	1.9	2.5	4.2	7.6	2.0	1.9	2.2	3.2	3.5	4.2	5.0	6.3	7.5	8.9	9.8	
食料（前年比）	1.7	2.5	4.7	8.8	1.9	1.8	2.2	3.5	3.9	4.7	5.7	7.4	8.7	10.4	—	
アルコール（前年比）	1.3	1.4	1.5	3.3	1.3	1.4	1.2	1.6	1.4	1.3	1.7	2.3	3.3	4.3	—	
たばこ（前年比）	3.0	2.8	2.8	2.3	3.1	3.3	2.6	2.6	2.9	2.9	2.7	2.1	2.2	2.4	—	
エネルギー（前年比）	15.8	25.7	35.1	39.6	17.6	23.7	27.5	25.9	28.8	32.0	44.3	37.5	39.1	42.0	39.7	

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

